

第33回神戸市みちの懇談会（議事要旨）

日 時 平成31年2月28日 午前10時00分～12時00分

場 所 神戸市役所 3号館 3階 大会議室

1. 神戸市自転車活用推進計画（案）について

- (1) 基本方針①自転車を安全・快適に使う（Move）に関する意見
- ・駐輪場の管理・放置自転車撤去・保管を一括委託することを全国に先駆けて最初に実行することは良い施策だと思う。
 - ・全て一括委託すると他社の経営を圧迫する可能性もあるので、民間事業者が儲かるような仕組みを作って欲しい。区単位で管理を分けることも考えられる。
 - ・放置自転車対策の駐輪場ではなく、自転車を停める空間からアメニティの提供などの付加価値により、利便性向上に繋がるような提案を行えると良い。
 - ・現在利用者が少ない駐輪場もあるので、利用が増えるような活用を考えて欲しい。
 - ・世界の潮流として歩道と自転車道の完全分離が絶対的な方向性であるので、現状の道路空間の中でどう対処するかではなく、将来的に完全分離することを目指して計画すべきである。その上で予算や全体のバランスを考えて段階整備するとよい。
 - ・三宮クロススクエアやバスターミナルの整備計画に対して自転車の計画が後追いになっているので、それらを進めるためにもあらかじめ自転車の考え方を盛り込んで計画すべきである。
- (2) 基本方針②自転車で神戸を楽しむ（Cruise）に関する意見
- ・他都市のシェアサイクル利用者で、駐輪場の場所が分からないという意見があるので、分かりやすいように考慮してほしい。
 - ・シェアサイクルのモデルコースを指定しているが、気軽に周遊出来るコースがあってもよい。
 - ・神戸市は自転車で走りやすい魅力的な場所はよく在るが、モデルコースやスポットがどう繋がっているか分かりにくい。魅力を高めるためにもどういう順序でどのように整備するか、観光として戦略的に発信する必要がある。
 - ・高齢者や外国人観光客など、どんな人でも周遊コースがわかりやすいように、案内看板を設置するなど考えて欲しい。
 - ・神戸の海・山・田園をクルーズする施策について、六甲山へ自転車では勾配がきついのでアシスト付自転車でないとなると走行は困難である。もっと簡単に登れるような南北の道路整備についても考えて欲しい。
 - ・イベントや PR、話題作りも非常に大事なことであるので、関係部局と連携して積極的に行って欲しい。
- (3) 基本方針③自転車で市民を運ぶ（Transport）に関する意見
- ・コベリンについて、市役所職員が積極的に活用することを呼びかけて、職員自身も積極的に活用しながらどういう形にすればよいか体感しながら考えた方がよい。
 - ・コベリンの利用から見た行動を見ると、ポートのある場所とよく滞在する場所で差異がある。ポートがないのに利用者が存在する箇所があることから、現状はポートが無いから使いづらい状態なのではと感じる。

- ・新たな交通手段としての自転車活用について、今の計画は全てのことが「行き」のことしか書いてないが、自転車通勤は非対称であることを念頭に置いて計画を進めるべき。

(4) その他意見

- ・自転車製造は大阪が盛んだが、その部品の多くは神戸市で作られているので、そういった地場産業の強みを出していければ更に神戸市らしい計画になる。

以上